

(端裏書)

「子十一月十六日受人勘右衛門持參」

借家請状之事

- 一 此元五郎と申者慥成もの^ニ付此度御借
家御借被下私義幾年^茂請人^ニ相立申候所
実正明白^ニ御座候、此もの宗旨^者代々禪宗
安國寺檀那^ニ紛無御座候、則目代所へ寺
手形差出し置申候事
- 一 従御上様被為仰出候御法度之趣
尚又諸事御触之通急度相守可申上候事
- 一 火之元常々無油断入念心ヲ付、且水遣ひ等之
義^茂被為聞仰候通相守可申事
- 一 人宿人寄并不審成もの立宿^{ニ而}も仕間敷
尚又他所より親類参り候共早速其所目代へ
相伺、其上宿借可申事
- 一 喧嘩口論博奕之義一切仕間敷候事
- 一 日用御入用之節^者何時^{ニ而}も相勤申
- 上候、仮令他所へ罷越し候無拠義^ニ付外方へ
罷出候之及義定^ニ候共御入用^ニ御座候ハ、早速
先方へ相断御用相勤可申上候、若私用^ニ付
宿^ニ居不申欵^{又者}當分相煩ひ候節^者
- 慥成替り人差上少し^茂御支へ不相成候
様御用相勤可申上候事
- 一 不時有之候節^者何方へ参り候共早速
かけ付罷かへり御用向相勤可申上候事
- 一 勝手^ニ付外方^江宅替仕候節^者家賃之義
不及申上ル敷板等迄御改請、其上家明渡し
可申事
- 一 御借家御入用之節^者何時^{ニ而}茂明渡可申上候
若又此已後如何様之義出来仕候共私罷出急度
埒明ヶ少し^茂御役界懸申上間敷候、且又明渡し
候様被仰聞候外方^ニ存廻之借家無之候共受人
方へ引取早速明渡し可申上候事
- 一 家賃之義御義定之通毎月晦日正錢ヲ以無

相違差上可申候、若又一ヶ月ニ而も及遲滯候節
請人より急度相弁皆済可仕候事

右之條々皆相守可申上候、為後日借家請状仍而如件

天保十一年

子十一月日

借主

今本屋

元五郎

(印)

藤澤屋

勘右衛門

(印)

大谷藤之丞様

御家守衆中